



能狂言研究への招待

パフォーマンスと表象

日本古典籍セミナー

パフォーマンスの規則と記録 山中玲子



本日の概要

自己紹介

- 1) 能狂言への招待
- 2) 表象の道具（面・装束・所作のきまり）
- 3) パフォーマンスの規則と記録
（どんな研究ができるか）

能楽（能狂言）への招待

能楽（能狂言）に関する基本情報

能とは

室町時代（14世紀半ば）

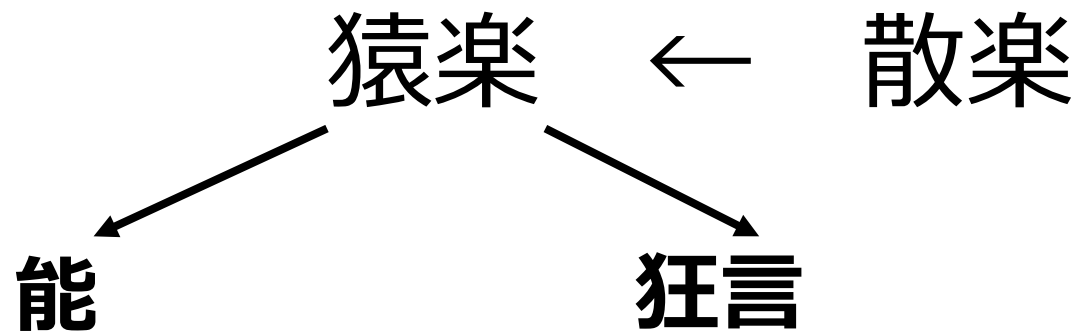
観阿弥・世阿弥父子によって大成

日本でいちばん古い演劇

面と美しい装束を用いる歌舞劇

脚本・音楽・演技に独自の様式

屋根付きの専用舞台



- 悲劇・奇跡
- 歌舞劇
- 悲しみ、恨み、執心、懷旧、恋慕 等

- 喜劇
- せりふ劇
- ユーモア
- ホームドラマ





能と歌舞伎の違い

能

14 世紀

ミニマリズム

(省略・象徴)

化粧はしない / 仮面劇

男性役者 — 女性の役

女性の役者 — 男性役

歌舞伎

- 16-17 世紀

- 誇張

- リアリズム

- 化粧

- 男性役者

男の役
女の役
(女形)

上演曲

現在の上演曲目は約 2 4 0 曲

よく演じられるのは 1 2 0 曲ほど

1 5 世紀までに作られた作品を繰返し上演

作者不明の名曲も多い

新作も多少ある

何が出てくるか

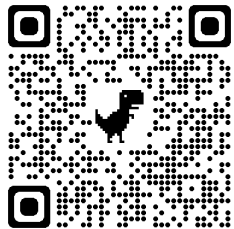
- 1) 源氏物語・伊勢物語等古典文学に登場する貴族の男女の霊
- 2) 源平の戦で死んだ武将の霊
- 3) 地獄に堕ちた男女の霊
- 4) 神・鬼・天狗・精など人間以外のもの
- 5) 別れ別れになった親子や夫婦、芸能者、武士など、現実の人間

鍔仙会～能と狂言～
「写真館」

〈清経〉

<http://www.tessen.org/archive/photo/20161114-1/>

2016年11月14日・観世鍔之丞



〈胡蝶〉

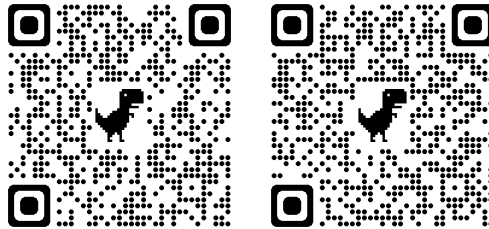
<http://www.tessen.org/archive/photo/20120608-2/>

2012年6月8日・鵜澤光

〈乱 置壺〉

<http://www.tessen.org/archive/photo/20140113-3/>

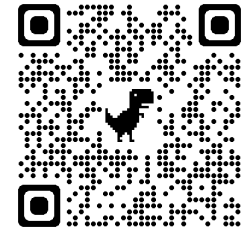
2014年1月13日・片山九朗右衛門



〈藤戸 蹉跎之伝〉

<http://www.tessen.org/archive/photo/20140214-1/>

2014年2月14日・大槻文藏



主な パート

シテ：主役 「シテ中心主義」

ワキ：シテと応対しシテの演技を引出す役。僧・
神官・勅使など。面を着けない

ツレ・ワキツレ：シテやワキの従者。シテ的な演
技、ワキ的な演技をする他の登場人物

地謡：コーラス。出来事や情景、人物の心情などを
謡う

囃子：笛・小鼓・大鼓。曲によっては太鼓も

アイ：狂言の役者も能の中で一役を担う

現在能

- 現実の人間同士のドラマ
- 何事かが起こり葛藤を経て解決
- 鬼退治の話などもあり



〈望月〉シテ 栗谷明生 ワキ 殿田謙吉 子方 大島伊織
笛 一噌隆之 撮影：新宮夕海

<http://awaya-akio.com/2017/02/07/post486/>

鍔仙会～能と狂言～
「写真館」

〈百万〉

<http://www.tessen.org/archive/photo/20120210-2/>

2012年2月10日・柴田稔





夢幻能

- 1 僧や勅使などの旅行者（ワキ）がある土地へ行くと、そこに住む里人（前シテ）が現れ、二人は言葉を交わす。
- 2 里人は、その場所に関わる物語を詳しく語った後、実は自分がその物語の中心人物であることをほのめかして、姿を消す。
- 3 ワキが待つうちに、先ほどの人物（後シテ）が、今度は本当の姿で現れる。そして、舞を舞ったり昔の様子を再現して見せたりする。

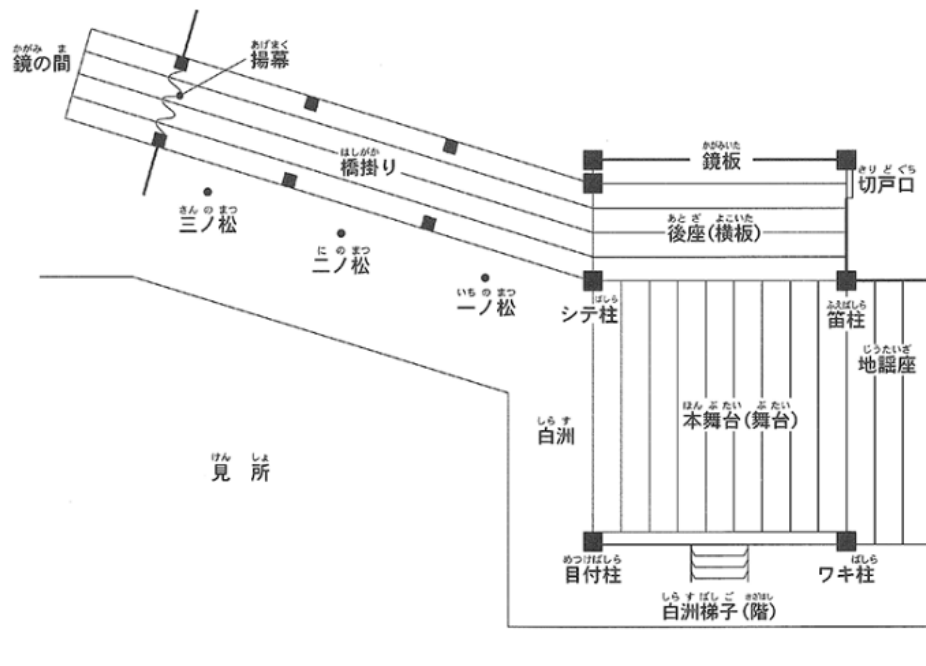
〈野宮〉 シテ粟谷明生 撮影：東条睦子





国立能楽堂

能舞台平面図（能楽協会サイトより）



銕仙会能楽研修所舞台

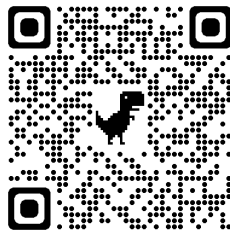
<https://www.nohgaku.or.jp/encyclopedia/whats/stage.html>

表象の道具

面・装束・所作の決まり

文化デジタルライブラリー

<https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/>



舞台芸術教材で学ぶ

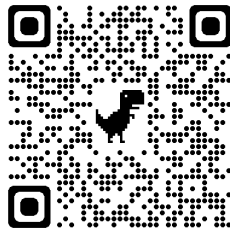
<https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/>





文化デジタルライブラリー 能楽 世阿弥

<https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc9/index.html>









能を知る会横浜公演
ポスターより

<https://eplus.jp/sf/detail/3817870001>

公益財団法人鎌倉能舞台

能 《羽衣》

ある春の日、漁師の白竜（ワキ）が「美保の松原」で、松の枝にかかる美しい衣を見つける。

家に持ち帰って宝にしようとするところに、呼びかける声がして、天人（シテ）が現れ、衣を返してくれと頼む。白竜が拒むと、衣がなければ天上に帰れないと、天人は泣く。

その様子を哀れに思った白竜は、天人の舞楽を見せてくれることを条件に衣を返す。

天人は喜び衣をまとして舞を舞い、国土に宝を降らせ、愛鷹山や富士山を越えて舞い上がり、春霞に紛れて消えていく。



https://youtu.be/w9kJXe_ckFM

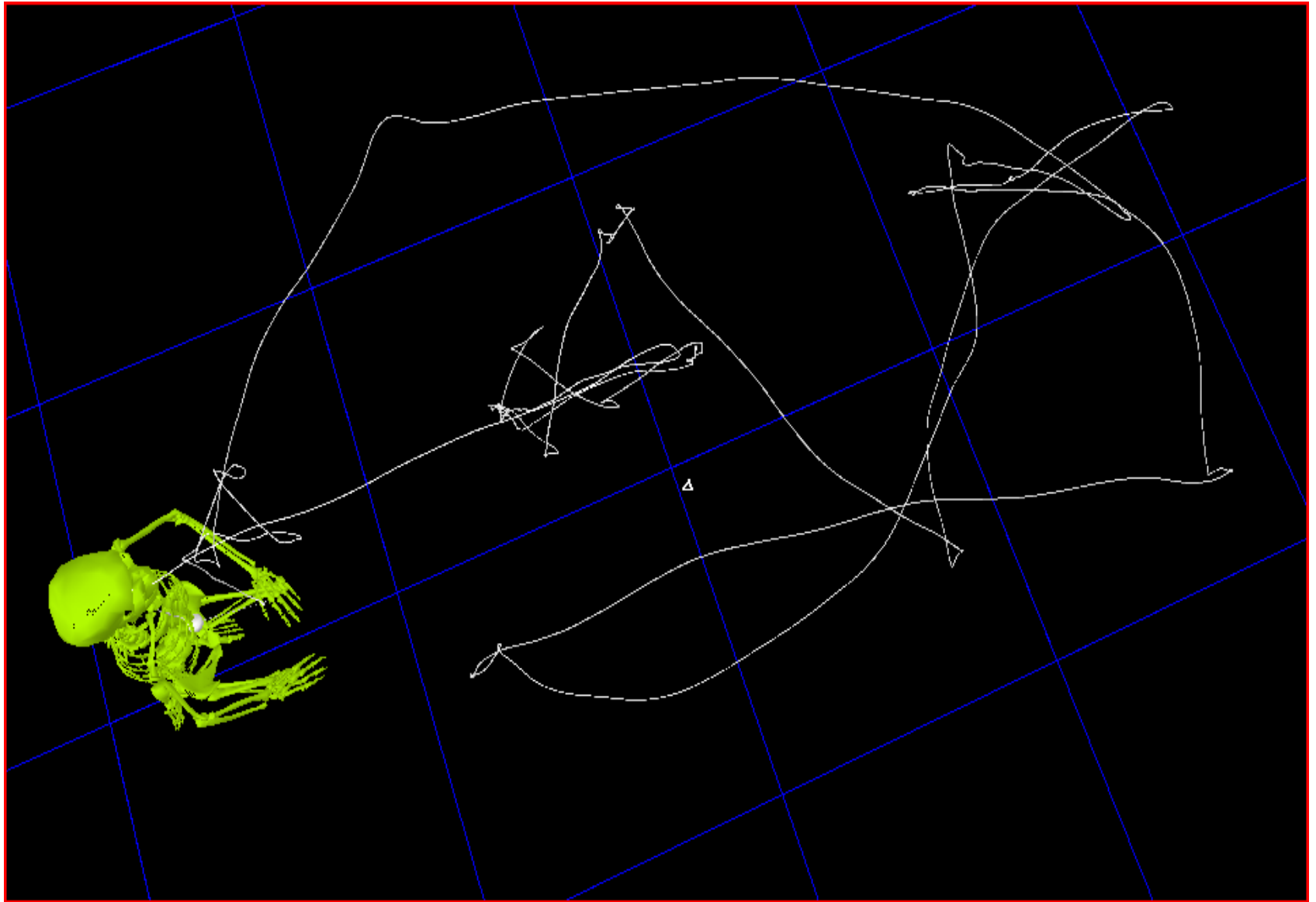
能ひとつのはな

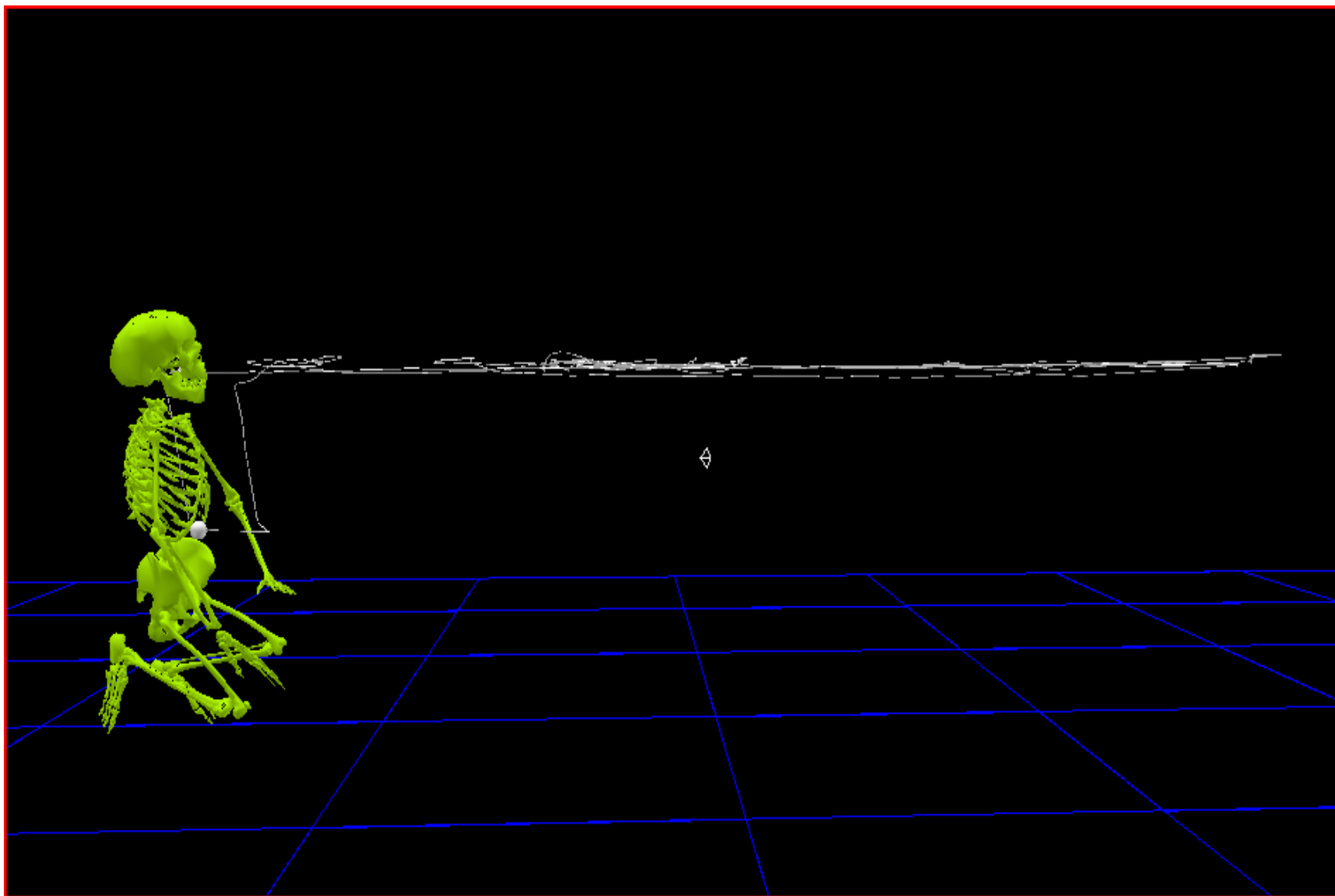


文化デジタルライブラリー
「能の演目と鑑賞」
〈羽衣〉











パフォーマンスの 規則と記録

能狂言研究への招待



能の技芸伝承

- 口伝
- 口伝を書き留めた文書
- 絵図
- ルールに沿った楽譜
- 写真
- 録音・録画

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

YouTube

能〈羽衣〉楽譜付（その２：縦書き譜と謡の横書き楽譜併記）

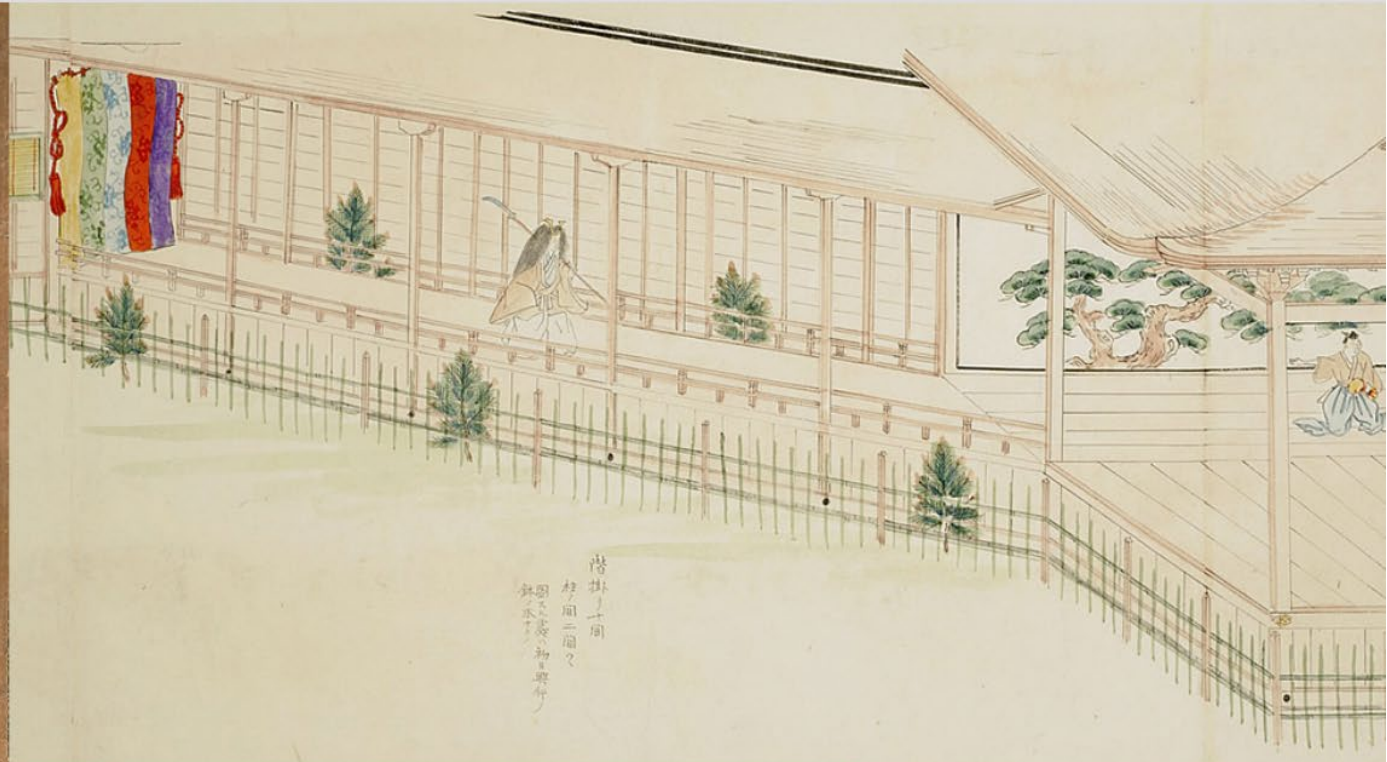
Noh 'Hagoromo' with full notations

<https://youtu.be/zuMPY-Vm9Ck>



能の技芸伝承

- 口伝
- 口伝を書き留めた文書
- 絵図
- ルールに沿った楽譜
- 写真
- 録音・録画



諫帝堯耶催杏英
減宮垣角以名鳴
自然天鼓金圖裡
眼聽都星谷臘夢

右宮垣沙危衛門親冒其護

前南禪美甫永雄





『世子六十以後申楽談儀』

(世阿弥の言葉を次男が書き留めたもの)

- * 能に、成就せぬ為手有。泣くといふことに、袖を目にあてゝ、やがて引く。あるいは、片目など拭う様也。
- * 女能には、小袖をも長々と踏み含み、肌着の練などをも、深々と引廻し、閉ぢて、首筋より下、肌を見すべからず。肌着をわが肌にしなすべし。
- * 松風村雨の能に「わが跡弔ひて賜ひ給へ」の所より寄らば、風情延ぶべし。「わが跡弔ひて」迄はかゝへて持ちて「いとま申て」と云所より寄りて「かへる」と云時帰れば面白き也。

昨那

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也



一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

湯

あつ

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

大

小

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

一 湯ノ時を祈ルノ意ハ
小瓶ヲ方へ用ケテ
湯レシト内ニ置キ
イッレノモリ也

邯鄲

（舞台轉動下の分）

一、「実く是ハ聞及し邯鄲ノ枕ナルベシ」ト云時、ツクバフ。枕に向ヒテ、「一村雨の雨やどり」ト云時立ツ。「日ハマダ残る中宿」と云時、空ヲミル。「カリ寝ノ夢ヲミルヤと、邯鄲ノマクラニ伏ニケリ」、此時一廻リ廻リテ、ヌル也。

一、「驚幾久し有明の月」と云時、戌亥ノ方ミルヨシ。「雲ノ羽袖」と云ふ時、左ノ袖ヲ打テ舞ル也。

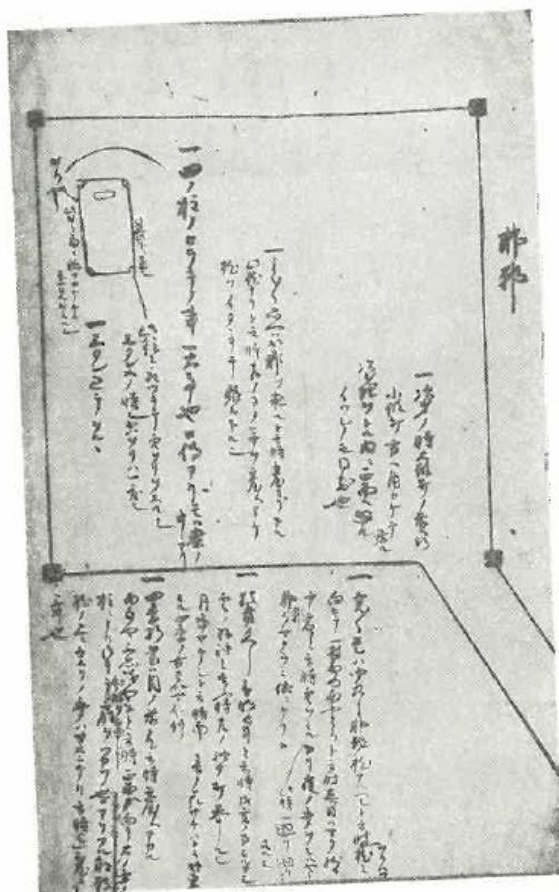
「月又サヤケシ」ト云時南、「春ノ花サケバ」ト云時東ミル。四季ノ方、是以可ニ分別。

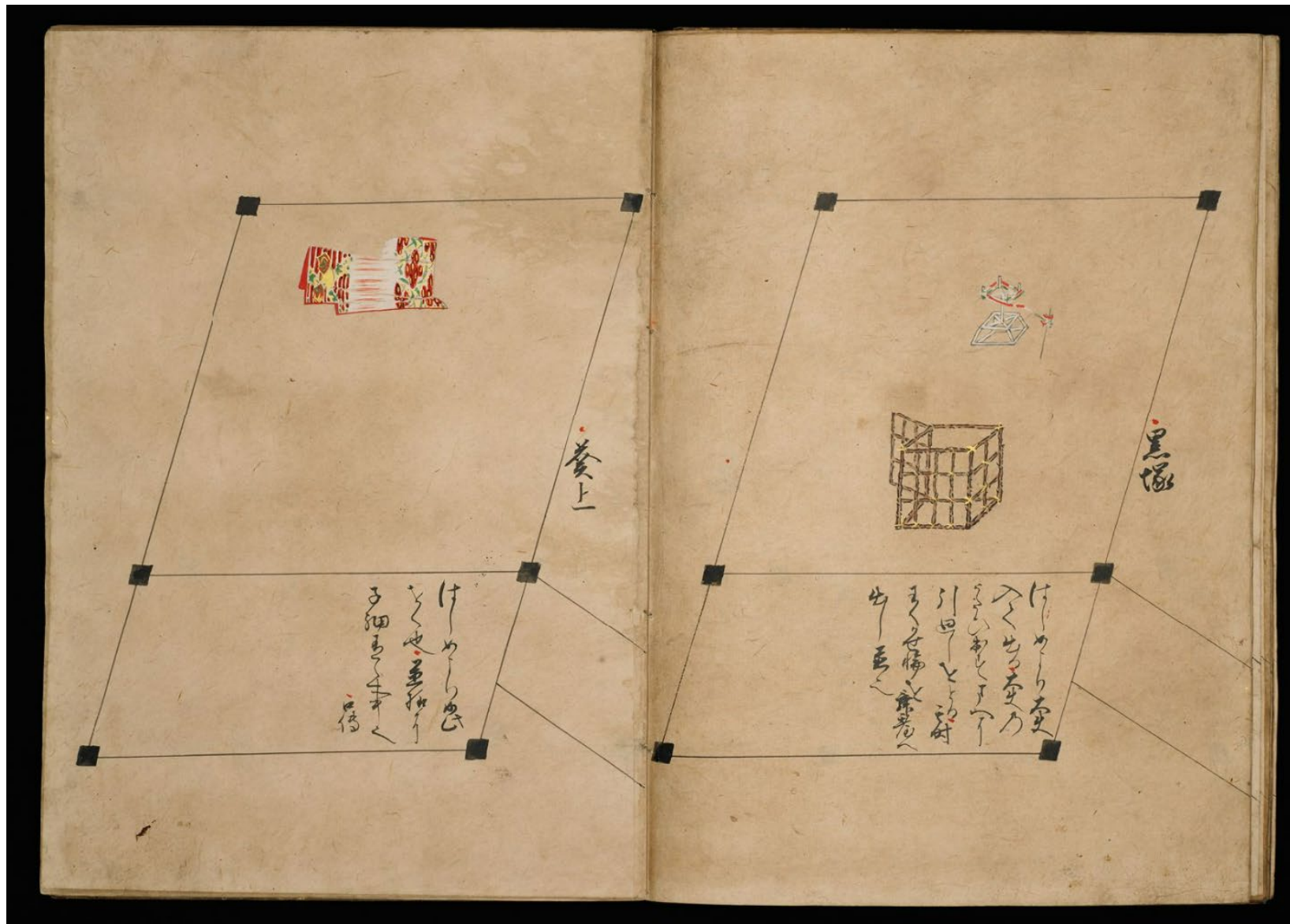
一、「四季折節ハ目ノ前にて」云時、台ヘアガル。「面白や不思議やな」と云時、正面ヘ向テ右ノ方ノ柱ニとりツキテ、左ノ脇ヲ正面ヘナシテ扇ヲツカフ也。「アリツル邯鄲ノ枕ノ上ニ、ネムリノ夢ハサメニケリ」云時迄、台ニテ舞也。

（舞台轉動下）

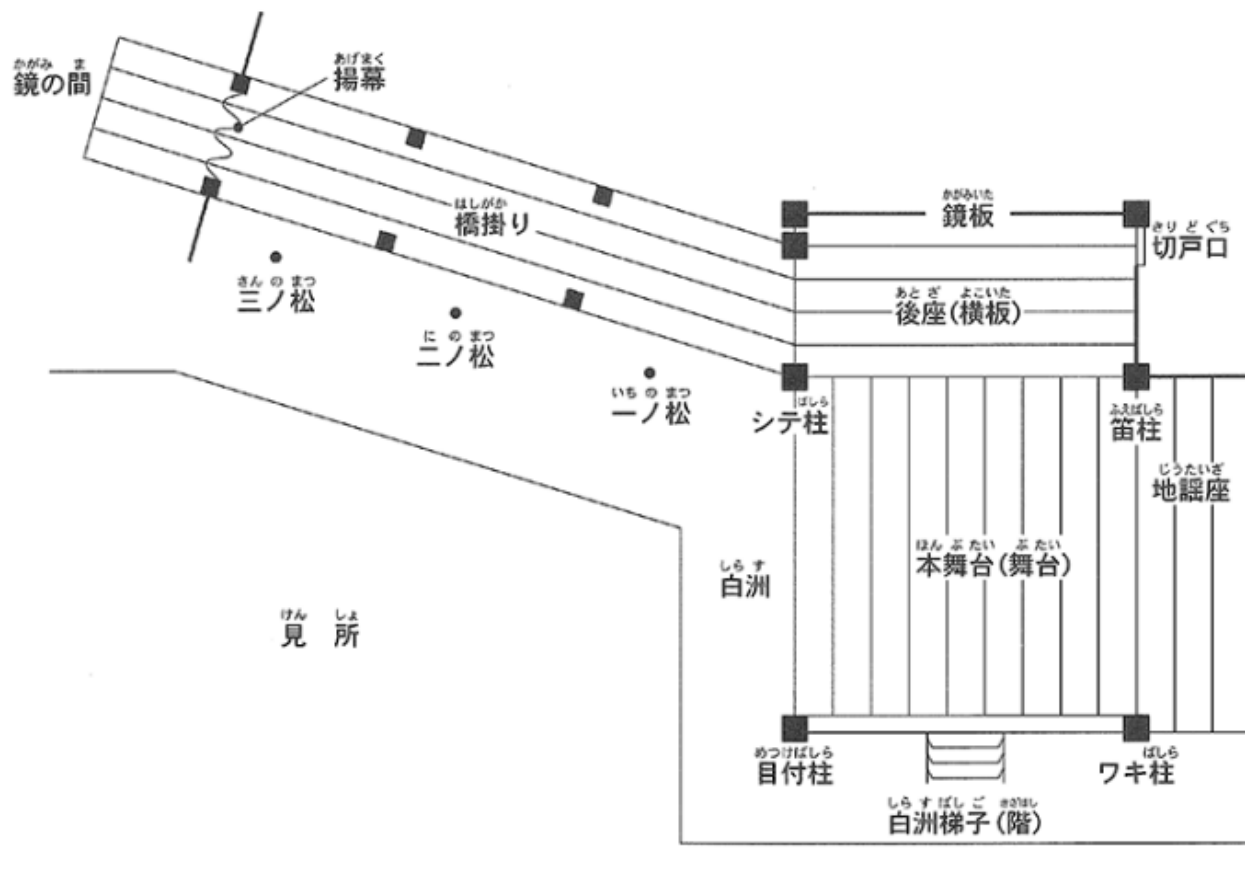
一、次第ノ時、太鼓打ノ前ヘ行、小鼓打方ヘ角カケテ居ル。次第地ヲトル内ニ、正面ヘ廻ル。イツ

炭運在間日記



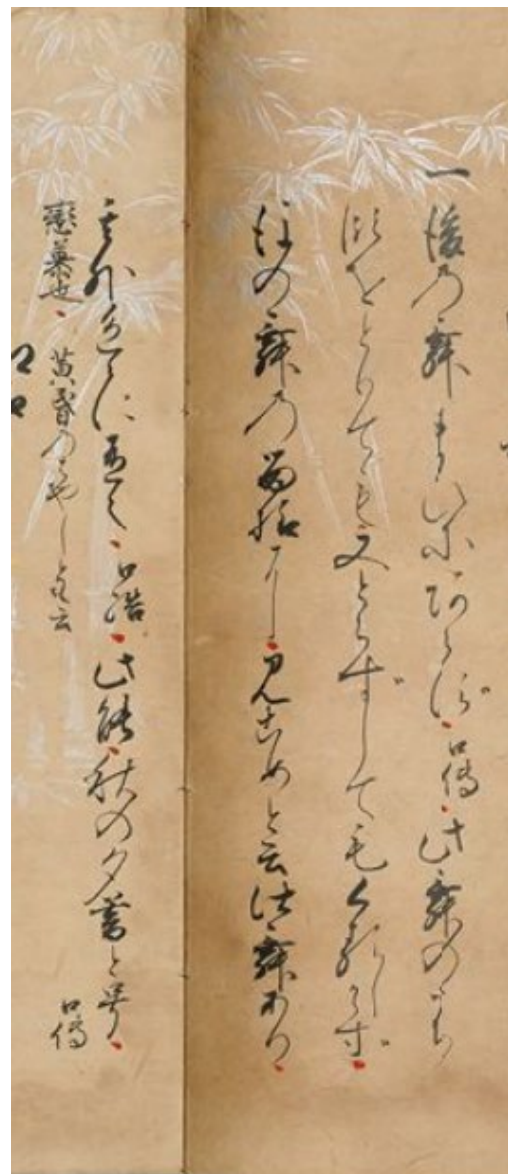


法政大学鴻山文庫蔵『舞台之図』





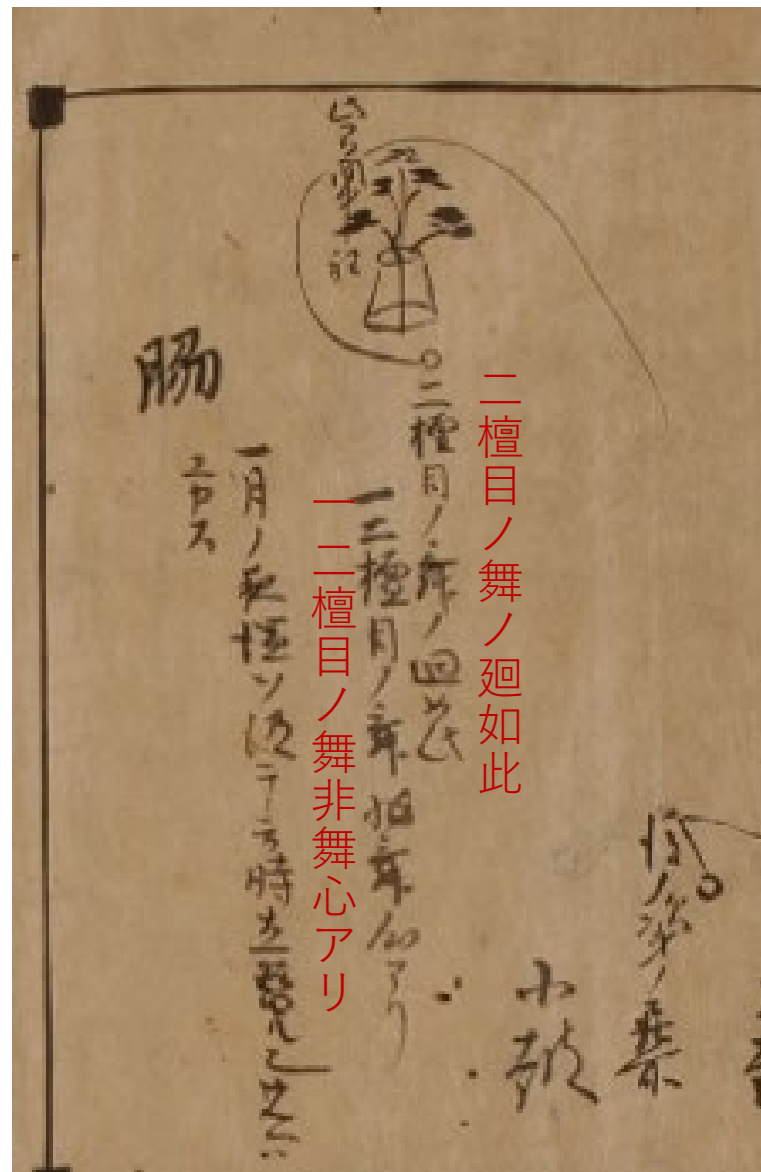
法政大学鴻山文庫蔵『童舞抄』



恋慕也。黄昏のはやしとも云

一後の舞まひにあらず。口伝。此舞のうち
段をとりても又とらずしてもくるしからず。
後の舞の留様に、見こめと云仕舞あり。
其外色々有之。口伝。此能秋の夕暮と号。口伝

『炭蓮江問日記』



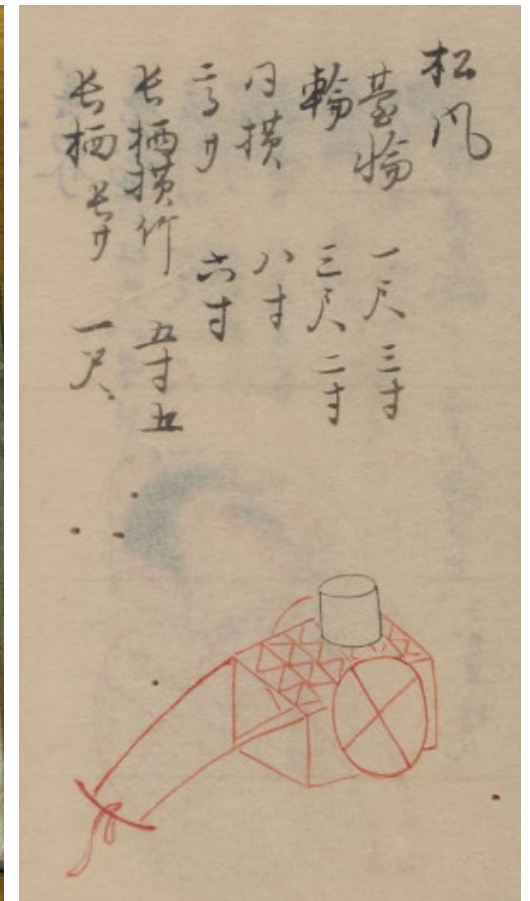
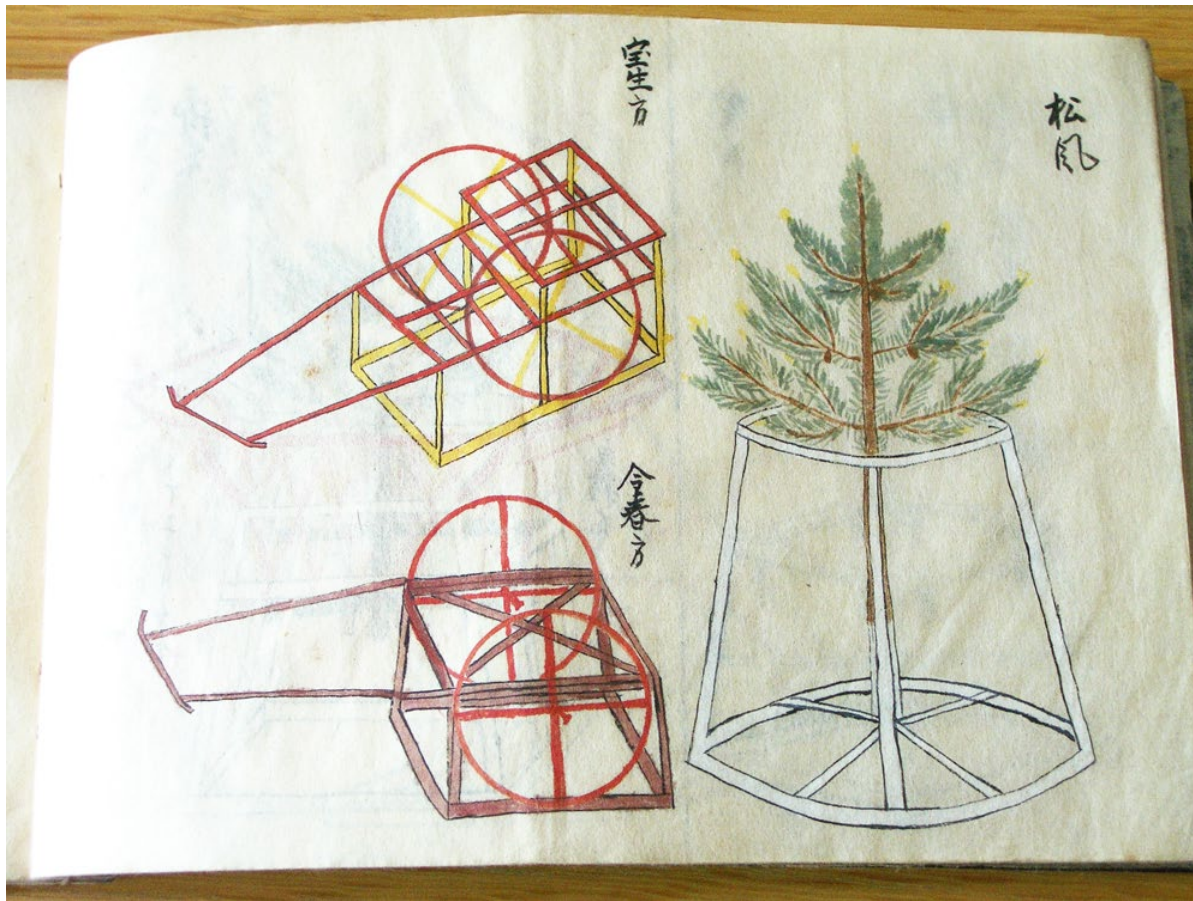
二檀目ノ舞ノ廻如此

一一檀目ノ舞非舞心アリ

一月ノ私恒ニ此ノ時ヲ要ス

此ノ舞ノ集

小歌



作り物の形状や寸法の記録

笛の唱歌と 舞台上の動線

